

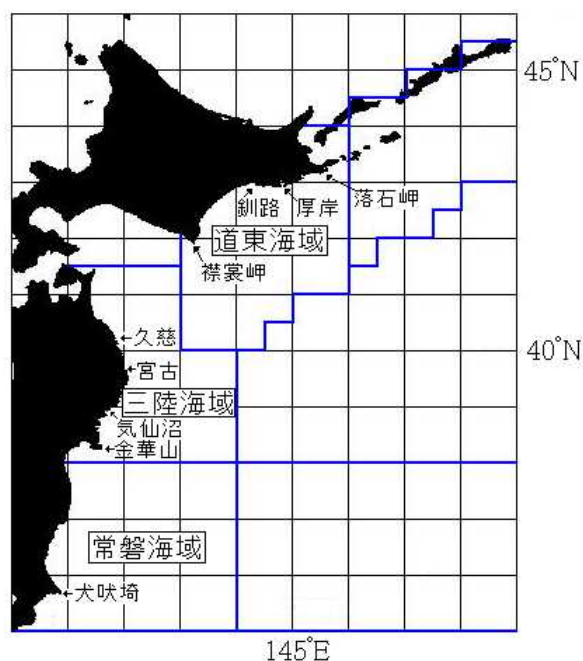
2019年度 第7回サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

今後の見通し(2019年11月中旬～12月下旬)のポイント

来遊量

- ・道東海域では、11月中旬の来遊量は断続的であり、終漁となる。
- ・三陸海域では、来遊があるが、来遊量は少ない。
- ・常磐海域では、11月中旬以降、断続的に来遊量がある。



海域の名称

問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 漁海況部
担当：渡邊、藤井
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881
当資料のホームページ掲載先URL
<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

2019年度 第7回サンマ中短期漁況予報

1. 今後の見通し

予測期間：2019年11月中旬から12月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量

11月中旬の来遊量は、断続的となる。11月下旬以降は、魚群の来遊が少なく、終漁となる。

(2) 漁場

道東海域では、11月中旬に、落石南～厚岸南沖、および襟裳岬沖に散発的に漁場が形成される。11月下旬以降は、漁場は形成されない。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

11月中旬は低位水準で増加するが、11月下旬は減少する。12月上旬は来遊が断続的となり、終漁となる。多くの魚群は、三陸海域よりも東側を南下する。

(2) 漁場

11月中旬～11月下旬は三陸北部～南部に、12月上旬は三陸南部に漁場が形成される。主漁場は三陸沿岸から離れた沖合である。12月中旬以降、漁場は形成されない。

3) 常磐海域

(1) 来遊量

11月中旬は、来遊は断続的に来遊があるものの、少ない。11月下旬は低位水準で増加するが、12月上旬は低位水準で減少する。12月中旬は来遊が断続的となる。12月下旬は来遊量が少なく終漁となる。

(2) 漁場

11月中旬は常磐海域北部で散発的に漁場が形成される可能性がある。11月下旬～12月中旬は、常磐海域北部が漁場となる。

2. 予測の概要

海 域		11月中旬	11月下旬	12月上旬	12月中旬	12月下旬
道東海域	来遊量	— →				
	動向	断続的				
	漁 場	落石南～ 厚岸南沖 襟裳岬沖				
三陸海域	来遊量	→	→	→		
	動向	低位増加	低位減少	断続的		
	漁 場	三陸北部 ～南部	三陸北部 ～南部	三陸南部		
常磐海域	来遊量	→	→	→	→	
	動向	断続的	低位増加	低位減少	断続的	
	漁 場	常磐北部	常磐北部	常磐北部	常磐北部	

3. 漁況の経過概要（10月下旬）

1) 道東海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した道東海域における来遊量の水準は、前年を下回り、低位水準であった。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、道東海域における来遊量は、期後半に増加した。

道東海域では、落石南南東60海里～霧多布南20海里と、襟裳岬東南東30海里に漁場が形成された。

主漁場は、道東海域より東側の花咲港東～東南東沖であった。道東海域より東側の海域においては、10月中旬よりも来遊量は増加した。

(2) 漁場

落石南南東60海里～霧多布南20海里（漁場水温12～15℃）では、小型船主体に操業。28日夜は小型船で満船近く漁獲した船もあったが、船間差が大きく、若干量しか漁獲できなかった船もある。

襟裳岬東南東30海里（漁場水温13℃）では、22日夜に大型船3隻操業し、最高8トン、平均4トン漁獲した。

道東海域より東側の海域においては、落石東南東320～400海里と花咲港東～東南東沖が漁場となった。落石東南東320～400海里（漁場水温11～15℃）では、21日～22日夜にかけて、大型船が30隻程度操業し、最高65トン、平均26トン漁獲した。花咲港東～東南東沖（漁場水温11～14℃）では、大型船と小型船が多数操業。漁獲は上向き、1晩で満船近く漁獲した船もあった。

(3) 魚体

道東海域では、体長27cmモードと30～31cmモードであった。体長29cm以上の魚の体重は120～130g台が主体であった。道東海域よりも東側では、体長29～31cmモードであった。体長29cm以上の魚の体重は120～140g台が主体であった。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

三陸海域では、来遊量は少なく、漁場は形成されなかった。

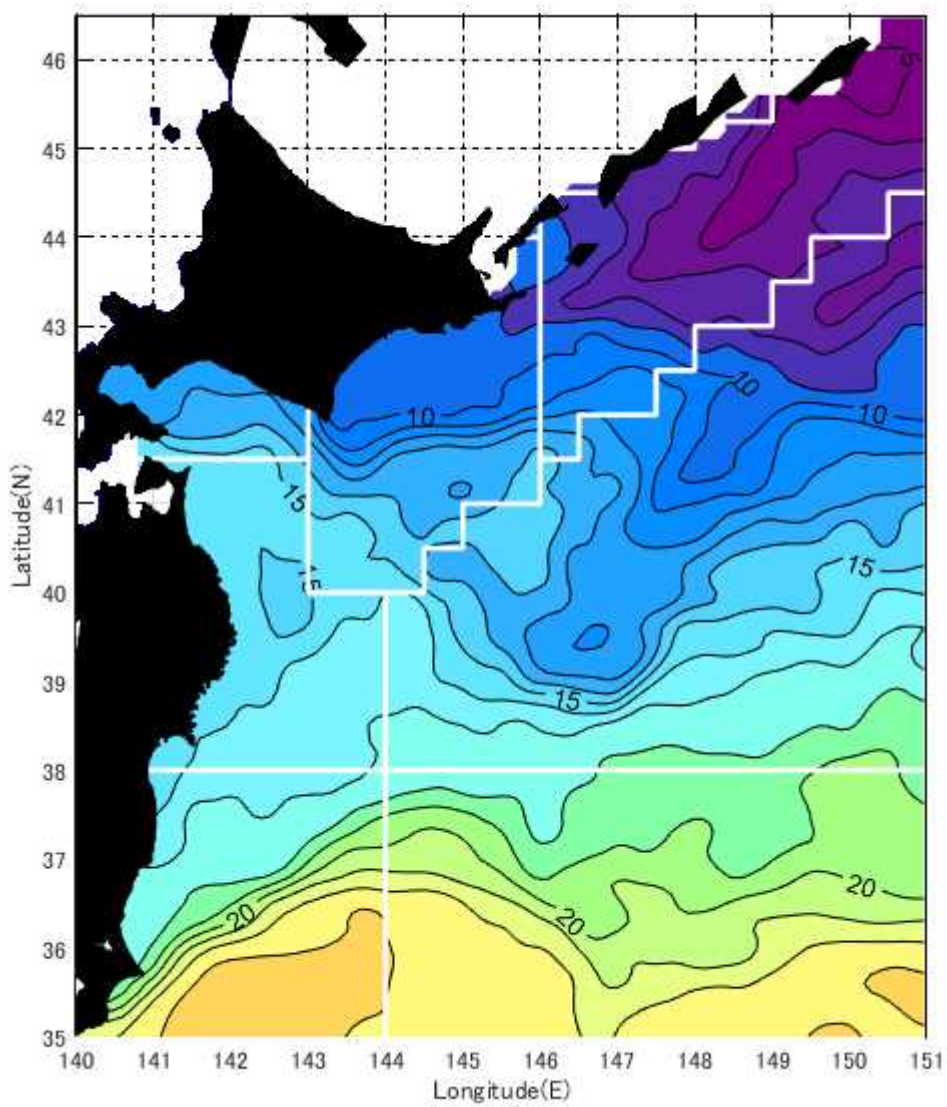
三陸海域より東側の宮古東120海里付近が漁場となったが、漁獲量は少なかった。

(2) 漁場

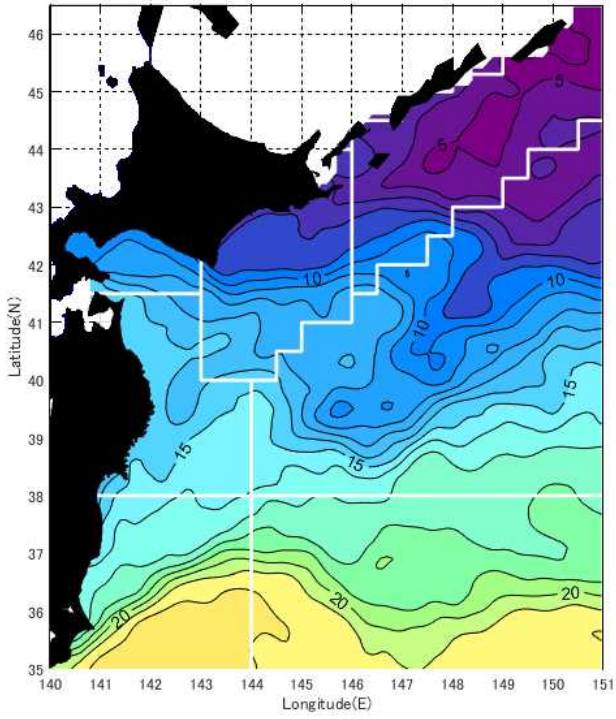
三陸海域より東側の宮古東120海里付近（漁場水温15℃）では、29日夜に大型船2隻操業し、最高8トン、平均7トン漁獲した。

4. 予測水温分布図

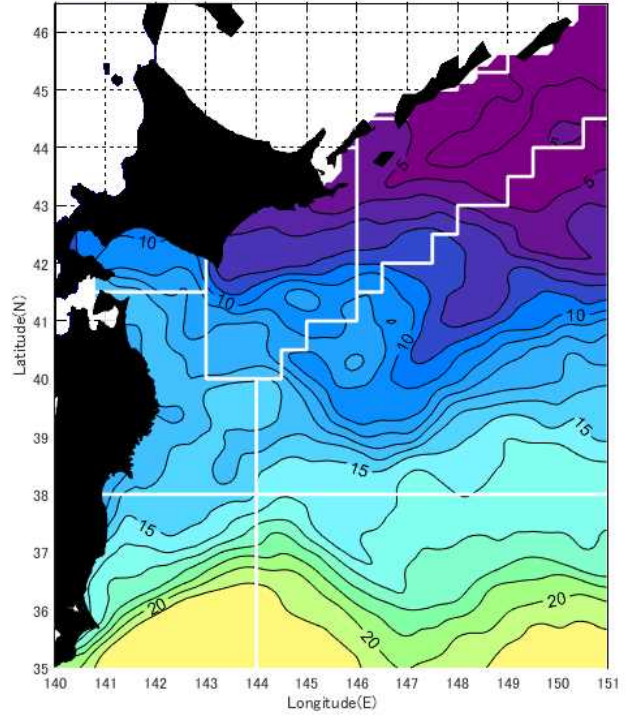
11月中旬予測表面水温分布図



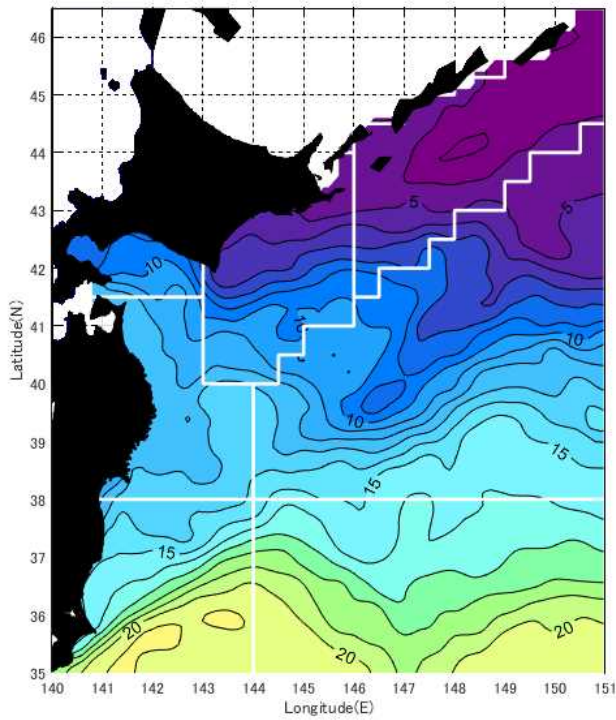
11月下旬予測表面水温分布図



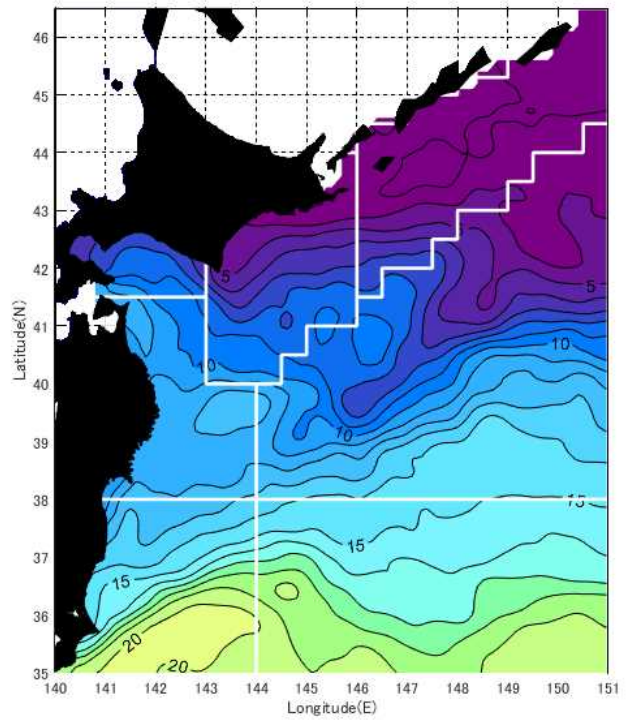
12月上旬予測表面水温分布図



12月中旬予測表面水温分布図



12月下旬予測表面水温分布図



参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
--	--